DAIKIN

CORPORATE NEWS

2026 年 11 月 17 日

令和 8 年度「卓越した技能者（現代の名工）」表彰を受賞

45 年にわたり磨いた板金加工技能と、障害の有無を超えた後進育成への貢献を評価

ダイキン工業株式会社の空調生産本部 生産技術部の平山 一幸（ひらやま かずゆき）が、厚生労働省が主催する令和 8 年度「卓越した技能者（現代の名工）」表彰を受賞（職種：工場板金工）しました。



今回受賞した、空調生産本部 生産技術部　平山一幸

「卓越した技能者（現代の名工）」表彰は、技能者の地位および技能水準の向上、優れた技能の継承を図ることを目的に、国内最高水準の技能を有し、他の技能者の模範たるにふさわしい技能者を表彰するもので、1967 年から毎年行われています。

今回受賞した平山は、入社以来 45 年にわたり空調機の生産に必要な試作品や治具などの板金加工業務に従事し、技能を磨いてきました。図面の読み取り・展開から、ケガキ※1、裁断、曲げ、溶接、仕上げまでの一連の工程を一人で担い、設備の特性や制約を熟知した的確な作業判断により、短時間で高精度な試作品を製作します。聴覚に障害がある平山は、国際アビリンピックで銅賞、全国障害者技能競技大会で銀賞を受賞するなど、技能競技大会でも優れた成績を収めています。

職場では、筆談や図解、口元の読み取り、スマートフォンアプリの文字起こしなどを活用して周囲と積極的にコミュニケーションを図りながら業務に取り組んできました。現在は、自ら製作業務を担う一方、指導者として若手社員の育成にも力を注いでいます。指導の際には、図面を紙に書き起こし、切り、折り曲げる基本作業から、実際の製作工程まで、身振りや筆談、実演を交えて技能を伝えます。世界同一品質の実現と、技能力向上を目的に開催している社内技能オリンピック（グローバル大会）の出場者への指導も行っており、上位入賞者を多数輩出しました。こうした、周囲と信頼関係を築きながら、長年培った技能を次世代へ継承する取り組みや姿勢も評価されました。

ダイキンでは、モノづくりを支える技能力の向上と、技能を伝承する人材の育成に取り組んでいます。今後も、グローバルで高度な技能者の育成と技能伝承を推進し、モノづくりのさらなる強化と品質の向上をめざします。

※1 金属や木材などに、裁断、折り曲げなどの加工を行うための線を書き込む作業

〔お問い合わせ先〕ダイキン工業株式会社　コーポレートコミュニケーション室
本社（06）6147-9923／東京支社（03）3520-3100　E-mail: prg@daikin.co.jp